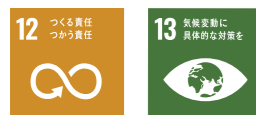




株式会社グラフィック

群馬県発 持続可能な 環境型循環ビジネス トナーカートリッジの再生事業



太田市

住所 太田市新田市野倉町489-1
TEL 0276-57-8794
Mail sds@torec.co.jp
URL https://torec.co.jp
代表者 船井 宝
設立 1993年4月23日
資本金 2億3,100万円
従業員 127人

WEBサイト



企業紹介

当社は、主にレーザープリンター用カートリッジを群馬県太田市で再生しているメーカーです。安心してご使用いただける再生品ブランド「TOREC」製品を中心に、企画・回収・出荷を含めた一貫生産をしています。



経緯・背景

私たちは、1993年の創業以来、主にレーザープリンター用トナーカートリッジの再生を行っています。トナーカートリッジの再生とは、使用済カートリッジを回収し、痛んだ部品を交換する等して再度使えるように組み直すことです。本来廃棄されるものを再利用することで、純正新品カートリッジに比べてコストも安く、環境負荷の軽減に貢献しています。

環境問題は益々大きな社会課題となっており、サステナブルな社会実現に向けて、今後も再生事業を推進してまいります。

プラスチックや鉄、アルミを 再利用しCO2削減 全社で廃棄物の分別も徹底

具体的な取組・成果



当社が再生する元となるカートリッジは、使い捨て品として生産されておりますが、カートリッジのケース自体は、通常の寿命の2倍以上使用しても破損することはありません。

カートリッジには、多くのプラスチックや鉄・アルミニウムが使われており、再利用することによりCO2削減効果を期待できます。

再生品は、ケースの成型と廃棄時のCO2排出量を削減できるうえ、弊社が作る再生カートリッジの場合、群馬県からのお届けになりますので、東南アジア等で生産されることの多い新品カートリッジと比較して輸送時のCO2排出量が少なくなります。

純正新品カートリッジよりも大容量化した再生カートリッジができれば、更なるCO2削減が期待できます。例えば、純正カートリッジ容量の1.5倍の再生カートリッジを作成すると、純正品のケースを生産するときのエネルギー1.5本分の節約となります。



作業風景

《ゴール12. つくる責任》として当社では、プラスチックの緩衝材から組箱に変更して、廃棄プラスチック削減に取り組んでおります。実績として数量ベースで昨年度(2021年度)は、一昨年度(2020年度)比、年間27%削減(CO2換算で約12t)できました。

1997年に京都で開催された地球温暖化防止京都会議(COP3)で採択された京都議定書。それに合わせて弊社では再生カートリッジにカーボンオフセット(排出権)を付与するサービスも始めました。



カーボンオフセット

《ゴール13. 気候変動に具体的な対策を》を全社でコミットするため、廃棄物の分別を徹底しています。アルミニウムや鉄・紙は、マテリアルリサイクルに、廃棄プラスチック類は、サーマルリサイクルに用いられており、それら全体のリサイクル率は100%を維持しています。

当社にとってのSDGsビジョン

私達は「もったいない」の気持ちから再生化事業を開始しました。Reuse/Recycleは私たちの最も得意とするところです。SDGsの考えに賛同し、Reuse/Recycleにさらに磨きをかけてまいります。

当社が皆様のお役に立ち続けることによって環境貢献ができると考えています。

今後の展望と求めるパートナー像

近年、ペーパーレス化が進んでいますが、印刷をゼロにすることは困難です。私たちは印刷を通じて、お客様の「伝えたい気持ちを応援する」という想いを日々抱き、今後も事業を進めてまいります。また、「もったいない」を共感できるパートナー企業様と”モノづくり”と”コトづくり”も進めてまいります。